変額保険

グローバルミックス

特別勘定の月次運用レポート

2019 年 10 月度

＜目次＞

1. 運用環境の主な状況 1 ページ
2. 特別勘定の運用方針/運用状況 2 ページ
3. [参考情報]投資信託の運用実績・状況 3-7 ページ
4. 当保険商品の注意事項 8 ページ

[引受保険会社]

アクサ生命保険株式会社

〒108-8020 東京都港区白金1-17-3

TEL 0120-568-093

平日 9:00～18:00 / 土 9:00～17:00

(日・祝日、12月30日～1月4日を除く)

https://www.axa.co.jp/

■ 当保険商品は、現在、新規のお申し込みをお受けしておりません。

■ 当資料は、特別勘定の運用実績等をご契約者さまへお知らせするための資料であり、生命保険契約の募集および投資信託の勧誘を目的としたものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご了承ください。

■ アクサ生命は、「運用環境の主な状況」などを信頼できると考えられる情報に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性については、これを保証するものではありません。また、「運用実績・状況」に係る内容はいかなるものも過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

本商品は、アクサ生命保険株式会社を引受保険会社とする生命保険商品です。預金ではありません。
そのため、預金とは異なり元本保証はありません。本商品のリスクについては本資料巻末に記載していますので、必ずご確認ください。また、本商品の詳細については、「ご契約のしおり・約款」「特別勘定のしおり」をご覧ください。

運用環境の主な状況

（2019年10月末現在）

■ 日本株式市場

TOPIX（東証株価指数）は上昇し、前月末比＋4.99%の1,667.01ポイントで終えました。月前半は、月初に発表されたISM（米供給管理協会）製造業景気指数が低水準だったことなどを受けた世界経済の先行きに対する懸念などを背景に、下落して始まりました。その後は、米中通商協議の進展に対する期待感や欧米株式市場が上昇したことなどを要因に上昇しました。月後半は、円安米ドル高で推移したことなどもあって、上昇しました。

日本の小型株式市場も上昇しました。

■ 外国株式市場

米国株式市場は上昇し、NYダウ工業株30種は前月末比＋0.48%の27,046.23ドルで終えました。月前半は、月初に発表されたISM製造業景気指数が低水準だったことなどを背景に下落して始まりましたが、堅調な米国の雇用統計や米中通商協議の進展に対する期待感などを受けると上昇しました。月後半に入っても、良好な米企業決算などを背景に上昇基調で推移しました。

欧州株式市場は、前月末比、独DAX指数＋3.53%、仏CAC40指数＋0.92%となりました。月前半は、月初、米欧間の貿易摩擦や、英国のEU（欧州連合）離脱を巡ってジョンソン英首相が強硬離脱も辞さない姿勢を改めて示したことなどを要因に下落して始まりました。その後は、米中通商協議の進展に対する期待感や、英国のEUからの「合意なき離脱」の可能性が低下したことが好感されたことなどを受けて上昇しました。月後半に入っても、上昇基調で推移しました。

新興国株式市場は上昇しました。先進国リート市場も上昇しました。

■ 日本債券市場

10年国債の金利は上昇（価格は下落）し、月末には－0.150%となりました（前月末－0.215%）。月前半は、米国長期金利に連れて国内の長期金利も低下（価格は上昇）して始まりましたが、米中通商協議の進展に対する期待感や英国のEUからの「合意なき離脱」の可能性が低下したことなどを受けると上昇しました。月後半に入っても、上昇基調で推移しました。

■ 外国債券市場

米国債券市場では10年国債の金利は上昇（価格は下落）し、月末には1.691%となりました（前月末1.665%）。月前半は、米国の景気指数が低水準だったことなどを背景に金利は低下（価格は上昇）して始まりましたが、米中通商協議の進展に対する期待感などを受けると上昇しました。月後半は、米中通商協議に関する米中両国の前向きな発言などを受けて上昇しましたが、月末にかけては、FRB（連邦準備制度理事会）が利下げを決定したことや、軟調な米国の景気指標などを背景に低下しました。前月末比では米国債券市場は金利が上昇しました。
米国ハイ・イールド債券市場は価格が上昇しました。

欧州債券市場では独10年国債の金利は上昇し、月末には－0.407%となりました（前月末－0.571%）。月前半は、横ばい圏で推移した後、米中通商協議の進展に対する期待感や英国のEUからの「合意なき離脱」の可能性が低下したことなどを要因に上昇しました。月後半も金利は上昇しましたが、月末にかけてはFRBが利下げを決定したことや、月末に発表されたユーロ圏の景気指標が軟調だったことなどを背景に低下しました。前月末比では欧州債券市場は金利が上昇しました。

■ 外国為替市場

米ドル/円相場は円安米ドル高となり、月末は前月末比＋0.96円の108.88円となりました。月前半は、米国の景気指数が低水準だったことから米国金利が低下したことなどを要因に円高米ドル安で始まりましたが、米中通商協議の進展に対する期待感などを受けると円安米ドル高となりました。月後半は、ほぼ横ばいで推移しました。前月末比では円安米ドル高となりました。

ユーロ/円相場は円安ユーロ高となり、月末は前月末比＋3.44円の121.46円となりました。月前半は、月初、米欧間の貿易摩擦や、英国のEU離脱を巡ってジョンソン英首相が強硬離脱も辞さない姿勢を改めて示したことから安全資産とされる円が買われたことなどを要因に円高ユーロ安で始まりましたが、米中通商協議の進展に対する期待感や英国のEUからの「合意なき離脱」の可能性が低下したことが好感されたことなどを要因に円安ユーロ高となりました。月後半も、月末での英国のEUからの「合意なき離脱」が回避されたことなどを受けて円安ユーロ高基調で推移しました。

※上記の内容は過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

特別勘定の運用方針/運用状況

(2019年10月末現在)

■ 特別勘定の運用方針

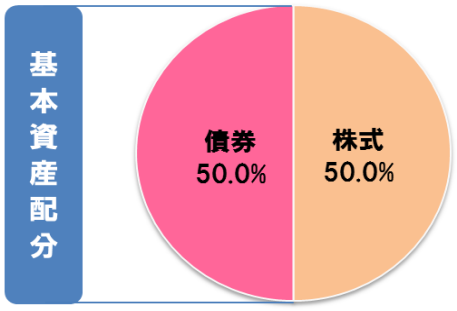
日本国債をはじめとする債券及び日本・米国・欧州の株式に分散投資することにより、中長期での資産の安定的な成長をめざします。外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行います。基本資産配分は、株式50%程度、債券50%程度とします。
運用の決定にあたっては、収益性、安全性、流動性に配慮し、運用環境の動向に応じた資産配分を行います。
(特別勘定の運用は、アクサ生命保険株式会社　ALM＆特別勘定運用部が行います。)

■ 利用する投資信託

委託会社…アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社
投資信託…アクサ ローゼンバーグ・日本株式ファンド(A)〈適格機関投資家私募〉
アクサ ローゼンバーグ・日本バリュー株式ファンド(B)〈適格機関投資家私募〉
アクサ ローゼンバーグ・米国株式ファンド(A)〈適格機関投資家私募〉
アクサ ローゼンバーグ・欧州株式ファンド(A)〈適格機関投資家私募〉
アクサ ローゼンバーグ・日本債券ファンド(B)〈適格機関投資家私募〉

■ 特別勘定のINDEXの推移

※特別勘定のINDEXは特別勘定で利用している投資信託の基準価額とは異なります。



INDEX	騰落率(%)					
2019年10月末	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
1.323	1.72	1.85	1.74	3.23	13.43	32.34

※特別勘定のINDEXは、2000年8月1日を1．00として計算しています。
※騰落率は、当月末における、上記各期間のINDEXの変動率を表しています。

■ 特別勘定資産の内訳　千円単位

銘柄		金額	%	参照頁
現預金・その他		1,968,400	4.2	―
株式	アクサ ローゼンバーグ・日本株式ファンド(A)〈適格機関投資家私募〉	4,836,585	10.3	P.3
	アクサ ローゼンバーグ・日本バリュー株式ファンド(B)〈適格機関投資家私募〉	7,265,472	15.5	P.4
	アクサ ローゼンバーグ・米国株式ファンド(A)〈適格機関投資家私募〉	7,225,578	15.4	P.5
	アクサ ローゼンバーグ・欧州株式ファンド(A)〈適格機関投資家私募〉	4,820,337	10.3	P.6
債券	アクサ ローゼンバーグ・日本債券ファンド(B)〈適格機関投資家私募〉	20,825,711	44.4	P.7
合計		46,942,086	100.0	―

※金額の単位未満は切捨てとしました。また、比率については小数点第二位を四捨五入しています。

※上記の内容は過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

［ご参考　主な投資対象とする投資信託の運用実績・状況］　(2019年10月末現在)

アクサ ローゼンバーグ・日本株式ファンド（A）〈適格機関投資家私募〉

アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社

■ 投資信託の特徴

マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に、主として日本の株式を対象に投資を行い、信託財産の中長期的な成長を図ることをめざします。定量スクリーニングによって割安度が高く、かつ成長性の高い銘柄を中心に投資します。

■ 純資産総額

49 億円

■ 設定日

2000年8月3日

■ ベンチマーク

東証株価指数（TOPIX）

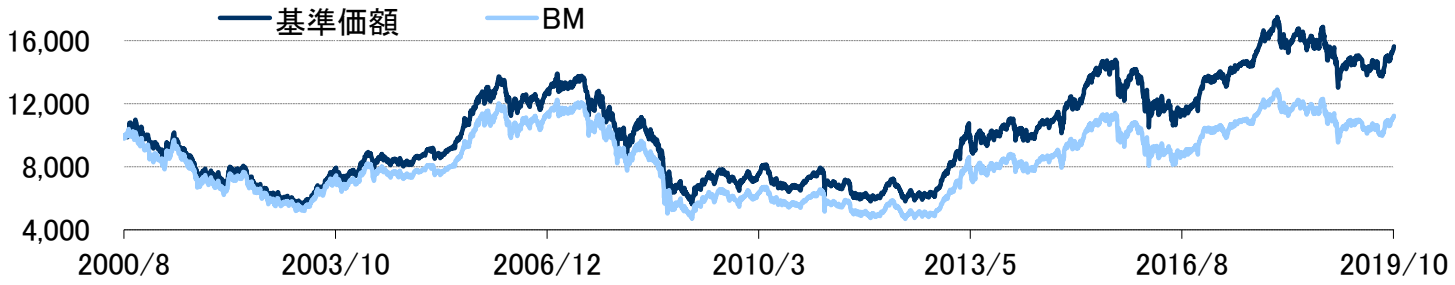
■ 基準価額・ベンチマーク(BM)騰落率　表示桁数未満四捨五入

%	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
基準価額	5.21	7.22	4.74	2.53	26.85	56.31
BM	4.99	6.51	3.03	1.27	19.67	12.44
差異	0.22	0.71	1.71	1.26	7.19	43.87

※基準価額の騰落率は、分配金（税引前）を再投資したものとして計算しています。また、実際の投資家利回りとは異なります。
※TOPIXに関する著作権等の知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。

■ 基準価額の推移

※設定日の前日を10,000として指数化しています。(税引前分配金再投資)



■ 株式組入上位10銘柄

銘柄数：289

	銘柄	業種	%
1	トヨタ自動車	輸送用機器	3.26
2	ソニー	電気機器	1.59
3	アステラス製薬	医薬品	1.58
4	東海旅客鉄道	陸運業	1.57
5	三菱電機	電気機器	1.46
6	本田技研工業	輸送用機器	1.41
7	三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	1.31
8	オリックス	その他金融業	1.30
9	ソフトバンクグループ	情報・通信業	1.27
10	日本電信電話	情報・通信業	1.22

■ 株式組入上位5業種（%）

1	電気機器	12.84
2	情報・通信業	8.11
3	医薬品	7.65
4	化学	7.54
5	輸送用機器	7.45

■ 市場別構成比率（%）

東京証券取引所第一部	98.47
現金等	1.53

※「株式組入上位10銘柄」「株式組入上位5業種」「市場別構成比率」はマザーファンドの状況で、純資産総額を100%として計算したものです。

※上記の内容は、ご参考情報として運用会社からの情報を提供するものであり、アクサ生命は内容について一切の責任を負いません。
※資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
※特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分（現金等）を加えて構成されています。
後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。

［ご参考　主な投資対象とする投資信託の運用実績・状況］　(2019年10月末現在)

アクサ ローゼンバーグ・日本バリュー株式ファンド(B)〈適格機関投資家私募〉

アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社

■ 投資信託の特徴

マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に、主として日本の株式を対象に投資を行い、信託財産の中長期的な成長を図ることをめざします。定量スクリーニングによって割安度が高く、かつ成長性の高い銘柄を中心に積極的に投資します。

■ 純資産総額

100 億円

■ 設定日

2000年12月21日

■ ベンチマーク

東証株価指数(TOPIX)

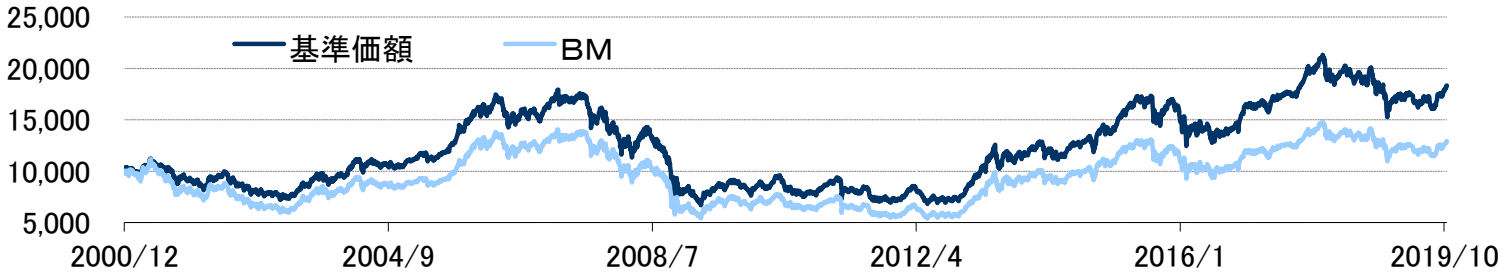
■ 基準価額・ベンチマーク(BM)騰落率　表示桁数未満四捨五入

%	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
基準価額	5.55	6.77	4.74	0.89	24.48	83.43
BM	4.99	6.51	3.03	1.27	19.67	29.29
差異	0.56	0.26	1.71	△ 0.38	4.81	54.14

※基準価額の騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものとして計算しています。また、実際の投資家利回りとは異なります。
※TOPIXに関する著作権等の知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。

■ 基準価額の推移

※設定日の前日を10,000として指数化しています。(税引前分配金再投資)



■ 株式組入上位10銘柄

銘柄数：198

	銘柄	業種	%
1	トヨタ自動車	輸送用機器	2.70
2	本田技研工業	輸送用機器	2.20
3	アステラス製薬	医薬品	1.94
4	東海旅客鉄道	陸運業	1.89
5	NTTドコモ	情報・通信業	1.85
6	KDDI	情報・通信業	1.82
7	三菱電機	電気機器	1.77
8	伊藤忠商事	卸売業	1.76
9	東日本旅客鉄道	陸運業	1.75
10	ソニー	電気機器	1.74

■ 株式組入上位5業種(%)

1	電気機器	14.63
2	情報・通信業	12.40
3	医薬品	8.85
4	小売業	7.21
5	化学	6.55

■ 市場別構成比率(%)

東京証券取引所第一部	94.81
その他の市場	1.94
ジャスダック証券取引所	0.80
東京証券取引所第二部	0.69
名古屋証券取引所第一部	0.01
現金等	1.75

※「株式組入上位10銘柄」「株式組入上位5業種」「市場別構成比率」はマザーファンドの状況で、純資産総額を100%として計算したものです。

※上記の内容は、ご参考情報として運用会社からの情報を提供するものであり、アクサ生命は内容について一切の責任を負いません。
※資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
※特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分(現金等)を加えて構成されています。
後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。

［ご参考　主な投資対象とする投資信託の運用実績・状況］　(2019年10月末現在)

アクサ ローゼンバーグ・米国株式ファンド（Ａ）〈適格機関投資家私募〉

アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社

■ 投資信託の特徴

マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に、主として米国の企業が発行する株式を対象に投資を行い、個別銘柄の市場価格が、適正と考えられる価格に比べて過小に評価されていると判断される「割安株」（バリュー株）を選別してポートフォリオを構築することで、ベンチマークを中長期的にみて、安定的に上回る運用をめざします。外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行います。

■ 純資産総額

72 億円

■ 設定日

2001年10月16日

■ ベンチマーク

S&P500種株価指数

（為替ヘッジコスト相当分を調整して得たもの/円ベース）

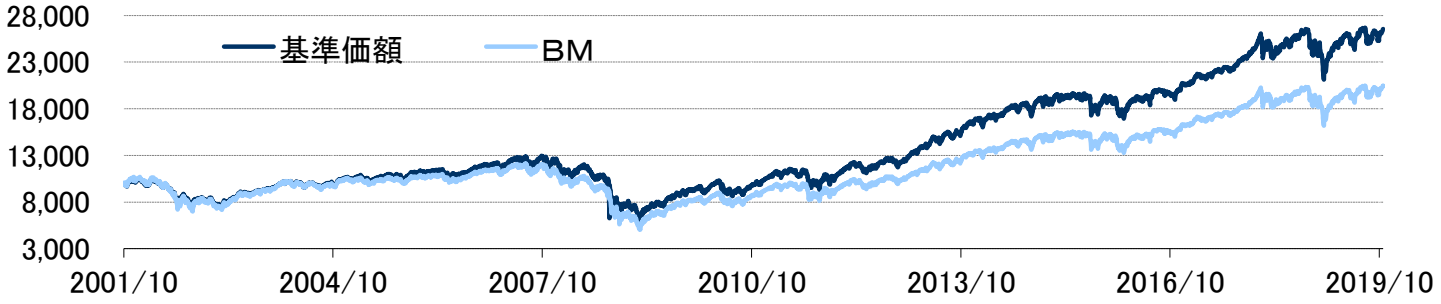
■ 基準価額・ベンチマーク(BM)騰落率　表示桁数未満四捨五入

%	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
基準価額	2.36	△ 0.06	2.10	10.13	37.28	165.49
BM	2.65	0.45	2.63	10.31	33.84	104.85
差異	△ 0.29	△ 0.51	△ 0.53	△ 0.18	3.45	60.64

※基準価額の騰落率は、分配金（税引前）を再投資したものとして計算しています。また、実際の投資家利回りとは異なります。
※S&P500種株価指数に関する一切の知的財産権その他一切の権利はスタンダード＆プアーズ社に帰属しています。

■ 基準価額の推移

※設定日の前日を10,000として指数化しています。(税引前分配金再投資)



■ 株式組入上位10銘柄

銘柄数：215

	銘柄	国名	業種	%
1	MICROSOFT CORP	アメリカ	ソフトウェア・サービス	3.91
2	APPLE INC.	アメリカ	テクノロジー・ハードウェア	3.63
3	AMAZON.COM INC.	アメリカ	小売	2.51
4	ALPHABET INC-CL A	アメリカ	メディア・娯楽	2.47
5	VISA INC.	アメリカ	ソフトウェア・サービス	1.97
6	VERIZON COMMUNICATIONS INC.	アメリカ	電気通信サービス	1.77
7	MASTERCARD INCORPORATED	アメリカ	ソフトウェア・サービス	1.68
8	PEPSICO INC.	アメリカ	食品・飲料・タバコ	1.49
9	MEDTRONIC PLC	アイルランド	ヘルスケア機器・サービス	1.42
10	FACEBOOK INC.	アメリカ	メディア・娯楽	1.41

■ 株式組入上位5業種（%）

1	ソフトウェア・サービス	14.83
2	ヘルスケア機器・サービス	7.28
3	医薬品・バイオテクノ・ライフ	7.26
4	メディア・娯楽	6.96
5	小売	6.78

※「株式組入上位10銘柄」「株式組入上位5業種」はマザーファンドの状況で、純資産総額を100%として計算したものです。

※上記の内容は、ご参考情報として運用会社からの情報を提供するものであり、アクサ生命は内容について一切の責任を負いません。
※資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
※特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分（現金等）を加えて構成されています。
後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。

［ご参考　主な投資対象とする投資信託の運用実績・状況］　(2019年10月末現在)

アクサ ローゼンバーグ・欧州株式ファンド（A）〈適格機関投資家私募〉

アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社

■ 投資信託の特徴

マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に、主として欧州地域の企業が発行する株式を対象に投資を行い、個別銘柄の市場価格が、適正と考えられる価格に比べて過小に評価されていると判断される「割安株」（バリュー株）を選別してポートフォリオを構築することで、ベンチマークを中長期的にみて、安定的に上回る運用をめざします。外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行います。

■ 純資産総額

48 億円

■ 設定日

2001年10月16日

■ ベンチマーク

MSCI欧州株価指数

（為替ヘッジコスト相当分を調整して得たもの/円ベース）

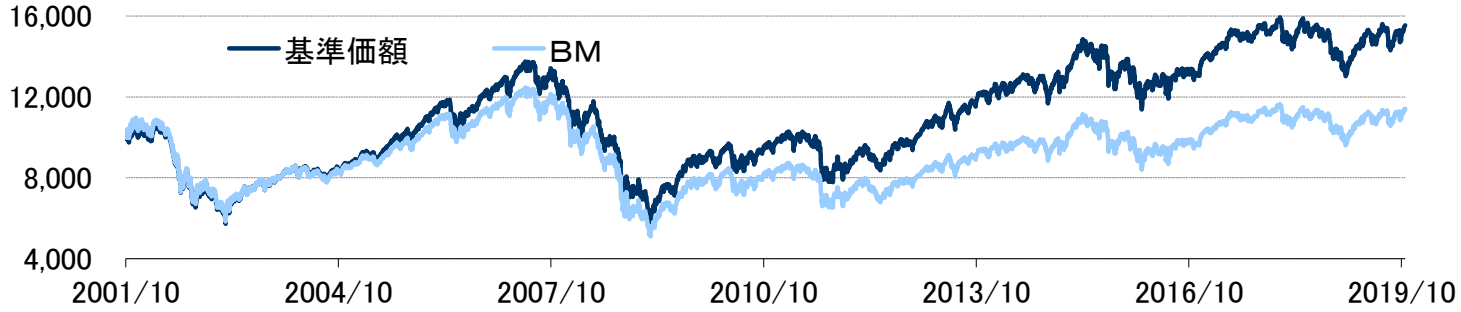
■ 基準価額・ベンチマーク(BM)騰落率　表示桁数未満四捨五入

%	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
基準価額	1.86	2.22	1.98	10.76	16.41	55.39
BM	1.20	1.86	1.70	10.31	15.85	13.99
差異	0.66	0.36	0.27	0.45	0.56	41.40

※基準価額の騰落率は、分配金（税引前）を再投資したものとして計算しています。また、実際の投資家利回りとは異なります。
※MSCI欧州株価指数に関する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。

■ 基準価額の推移

※設定日の前日を10,000として指数化しています。(税引前分配金再投資)



■ 株式組入上位10銘柄

銘柄数：181

	銘柄	国名	業種	%
1	NESTLE SA	スイス	食品・飲料・タバコ	3.78
2	ROCHE HOLDING AG	スイス	医薬品・バイオテクノ・ライフ	3.11
3	SAP SE	ドイツ	ソフトウェア・サービス	2.06
4	ROYAL DUTCH SHELL PLC-A SHS	イギリス	エネルギー	1.90
5	ALLIANZ SE	ドイツ	保険	1.90
6	NOVO NORDISK A/S	デンマーク	医薬品・バイオテクノ・ライフ	1.87
7	DIAGEO PLC	イギリス	食品・飲料・タバコ	1.75
8	GLAXOSMITHKLINE PLC	イギリス	医薬品・バイオテクノ・ライフ	1.75
9	NOVARTIS AG	スイス	医薬品・バイオテクノ・ライフ	1.65
10	UNILEVER NV	オランダ	家庭用品・パーソナル用品	1.63

■ 株式組入上位5カ国(%)

1	イギリス	22.52
2	フランス	19.13
3	スイス	13.54
4	ドイツ	12.60
5	オランダ	7.15

■ 株式組入上位5業種(%)

1	資本財	14.74
2	医薬品・バイオテクノ・ライフ	11.49
3	保険	8.84
4	食品・飲料・タバコ	8.12
5	銀行	7.40

※「株式組入上位10銘柄」「株式組入上位5ヵ国」「株式組入上位5業種」はマザーファンドの状況で、純資産総額を100%として計算したものです。

※上記の内容は、ご参考情報として運用会社からの情報を提供するものであり、アクサ生命は内容について一切の責任を負いません。
※資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
※特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分（現金等）を加えて構成されています。
後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。

［ご参考　主な投資対象とする投資信託の運用実績・状況］　(2019年10月末現在)

アクサ ローゼンバーグ・日本債券ファンド(B)〈適格機関投資家私募〉

アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社

■ 投資信託の特徴

マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に、原則としてわが国の公社債に投資を行い、ベンチマークを中長期的にみて、上回る運用をめざします。外貨建資産に投資した場合は、原則として為替ヘッジを行います。

■ 純資産総額

209 億円

■ 設定日

2000年12月21日

■ ベンチマーク

ブルームバーグ・バークレイズ・日本総合(3-7年)インデックス

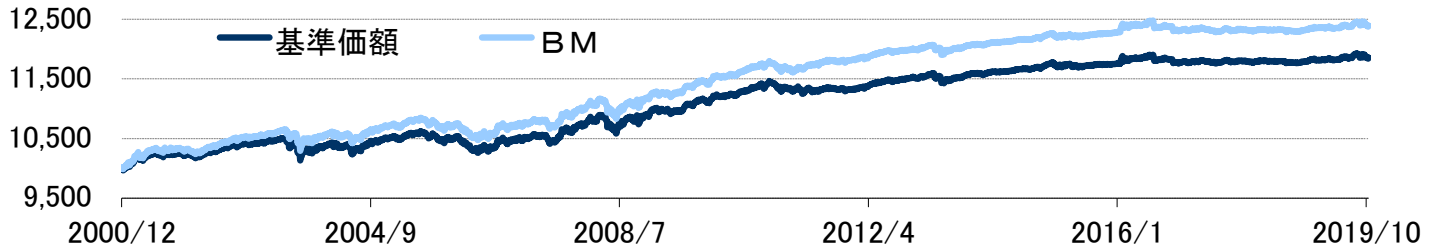
■ 基準価額・ベンチマーク(BM)騰落率　表示桁数未満四捨五入

%	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
基準価額	△ 0.34	△ 0.04	0.29	0.63	0.30	18.59
BM	△ 0.47	△ 0.00	0.31	0.63	0.16	23.91
差異	0.13	△ 0.04	△ 0.03	△ 0.01	0.13	△ 5.32

※基準価額の騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものとして計算しています。また、実際の投資家利回りとは異なります。
※ブルームバーグ・ファイナンス・エル・ピーおよびその関係会社またはブルームバーグのライセンサーは、ブルームバーグ・バークレイズ・日本総合(3-7年)インデックスに対する一切の独占的権利を有しています。

■ 基準価額の推移

※設定日の前日を10,000として指数化しています。(税引前分配金再投資)



■ 債券組入上位銘柄

	銘柄名	国名	Moody's	S&P	%
1	第324回利付国債(10年)	日本	A1	A+	11.26
2	第52回地方公共団体金融機構債券	日本	A1	A+	4.52
3	第322回利付国債(10年)	日本	A1	A+	4.50
4	第355回利付国債(10年)	日本	A1	A+	4.50
5	第39回政府保証株式会社日本政策投資銀行	日本	A1	A	4.45
6	第3回BPCE債	フランス	-	A-	4.37

■ 格付別構成比率(%)

AAA	0.00
AA	3.16
A	92.74
BBB	4.11
BB以下(無格付含)	0.00

■ 債券種別構成比率(%)

国債	40.63
地方債	1.34
特殊債・財投債	19.53
金融債	0.00
社債等	38.26
その他	0.00
短期資産等	0.24

■ ファンド情報

平均格付	A
平均クーポン	0.57%
平均利回り	0.00%

※「債券組入上位銘柄」「格付別構成比率」「債券種別構成比率」はマザーファンドの状況で、純資産総額を100%として計算したものです。
※海外格付機関の格付を優先し、海外格付機関の格付取得の無い発行体は国内格付機関の格付けを採用します。
※債券種別構成比率「短期資産等」には債券先物が含まれています。

※上記の内容は、ご参考情報として運用会社からの情報を提供するものであり、アクサ生命は内容について一切の責任を負いません。
※資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
※特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分(現金等)を加えて構成されています。
後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。

注意事項

変額保険の仕組み

変額保険とは、保険金額が「特別勘定」の資産運用実績にもとづいて変動する生命保険です。
*特別勘定とは、変額保険にかかわる資産の管理・運用を行うもので、他の保険種類にかかわる資産とは区分し、独立して管理･運用を行います。

変額保険のリスクについて

①市場リスク
特別勘定の資産運用には、株価の低下や為替の変動等による投資リスクがあります。場合によっては、お受け取りになる保険金額（有期型の場合、満期保険金を含む）や解約払いもどし金額の合計額が、払い込まれた保険料の合計額を下回る可能性があります。なお運用実績にかかわらず、死亡・高度障害時保険金は保証されています。

②信用リスク
万一、引受生命保険会社が経営破綻に陥った場合、ご契約時にお約束した給付金等の金額が削減されることがあります。その場合、生命保険契約者保護機構により、保険契約者保護の措置が図られることがありますが、この場合にも、ご契約時の給付金等の金額が削減されることがあります。